

マイスターII(引違い)

取付け説明書

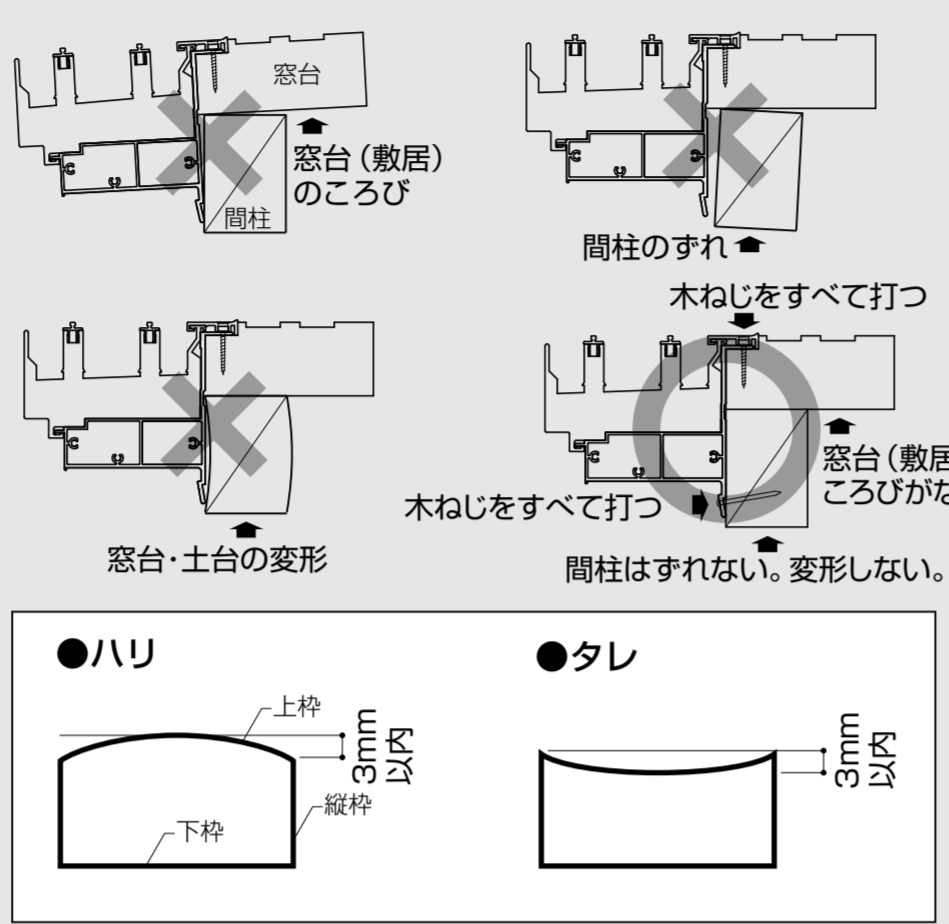
■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、最大で240kg(ガラスなしで60kg)となりますので下記事項をお守りください。
- 下枠が垂れ下がらないように、必ず開口部を45×100mm以上の窓台(敷居)、30mm以上の間柱で作ってください。障子の外れや気密・水密性能を損なうおそれがあります。
- 製品を運んだり取り付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- サッシ枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。障子落下・開閉障害の原因になります。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。(「**3** 外れ止めの調整」を参照)障子落下のおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
- 枠と躯体の取り合い部は、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。(参考納まり図参照)
- 外壁施工後、躯体と製品の取り付け合わせ部は、必ずシーリングしてください。(参考納まり図参照)



■施工上のお願い

- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつかけたり、こすったりしないでください。
 - 樹脂部材をねじ止めする場合は、絞めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
 - 枠をスクリーナ釘・木ねじを使用し、確実に固定した後、障子を建て込んでください。
 - 専用内窓を取り付ける場合は、専用アタッチメント(別途有償)を取り付けてください。
 - コーキング材はシリコン系・変成シリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイト系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。
- ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。

■ねじ一覧表

■半外付

スクリーナ釘 φ3×38	皿木ねじ φ3.8×38	丸木ねじ φ3.5×32

■外付

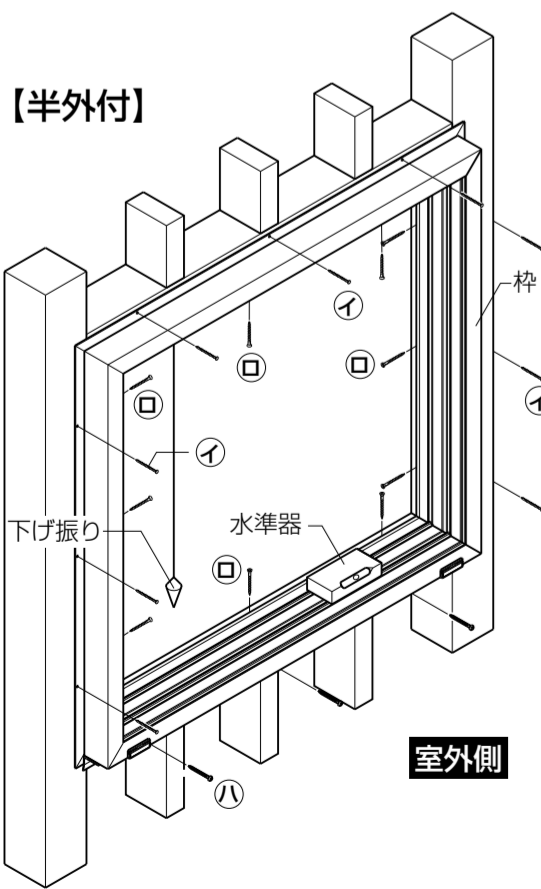
スクリーナ釘 φ3×38	丸木ねじ φ3.5×32	下枠アングルねじ

■取付け順序

1 枠の固定(半外付)

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

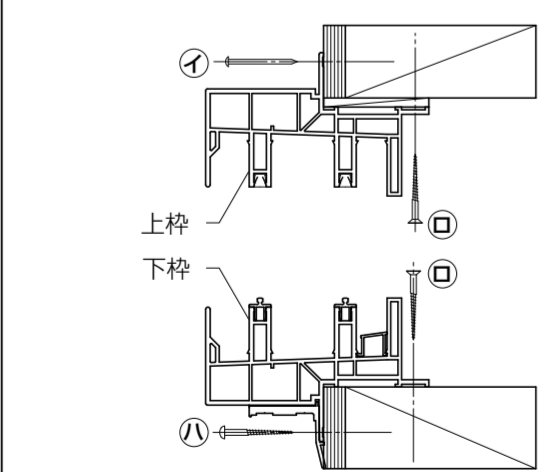
【半外付】



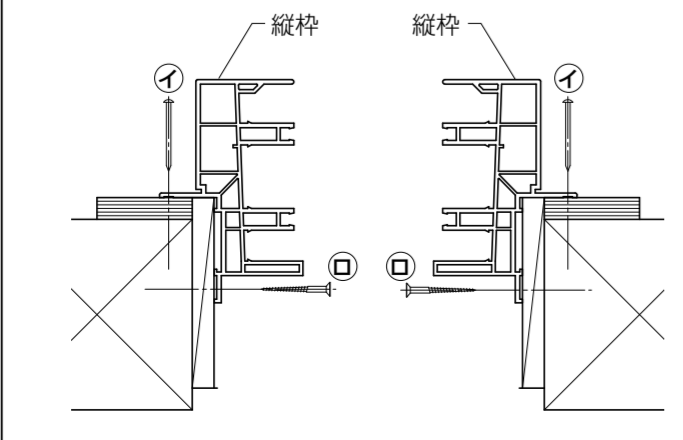
■取付け詳細

- 障子を建込む前に、下枠のアルミ補強材を①ねじ(φ3.5×32丸木ねじ)で必ず固定してください。固定前に障子を建て込むと下枠が垂れ下がります。
- 躯体とサッシにすき間がある状態で取り付けると、枠がねじれて気密性が悪くなります。すき間がある場合は必ずかき木を入れてください。

●縦断面図



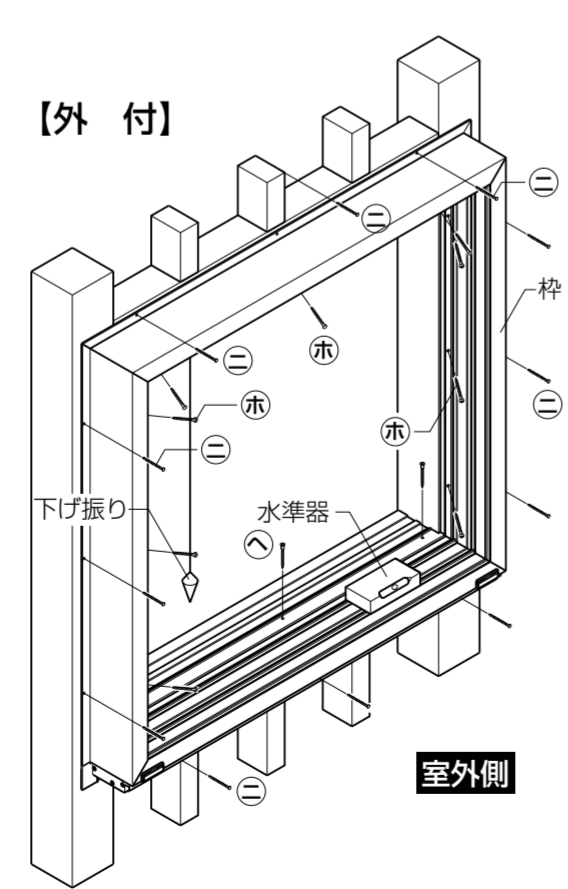
●横断面図



1 枠の固定(外付)

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

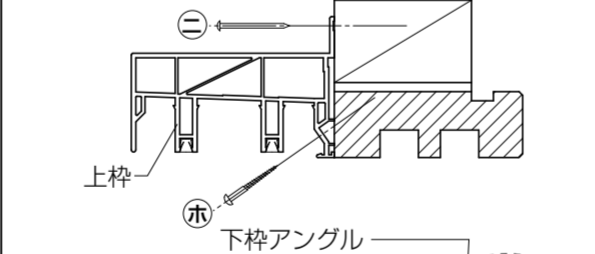
【外付】



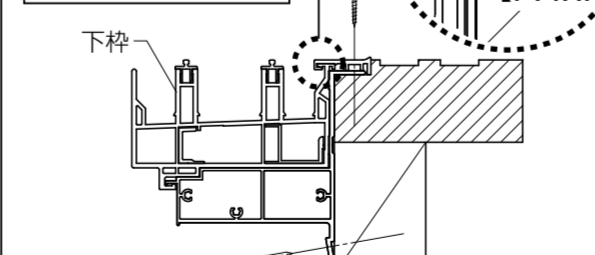
■取付け詳細

- 障子を建込む前に、下枠のアルミ補強材を②釘(φ3×38スクリーナ釘)で必ず固定してください。固定前に障子を建て込むと下枠が垂れ下がります。

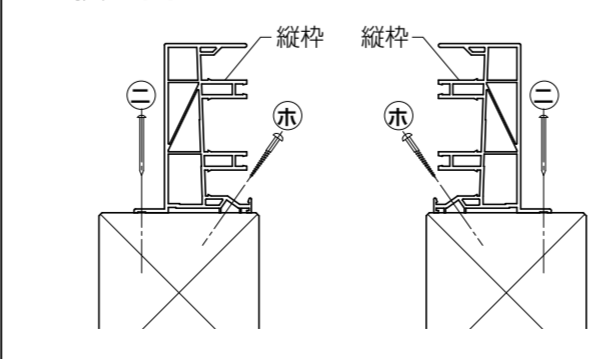
●縦断面図



※下枠アングルは確実に取り付けてください。(詳細図参照)



●横断面図



2 障子の建込み

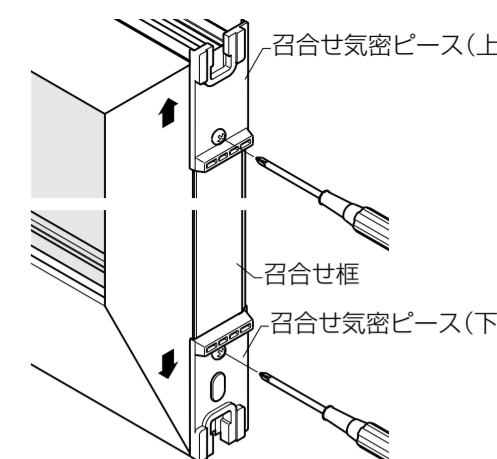
- 枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

3 外れ止めの調整

- ※建付け調整が必要な場合は、建付け調整完了後に外れ止めの調整を実施してください。
- ①プラスドライバーでねじをゆるめ、召合せ気密ピースを上部は上に、下部は下に動かします。
- ※召合せ枠の上下に付いている召合せ気密ピースが外れ止めの機能を持っています。
- ②ねじを締め付けます。
- ※外障子・内障子両方行ってください。

▲注意

●必ず外れ止めを上げてください。障子落下のおそれがあります。



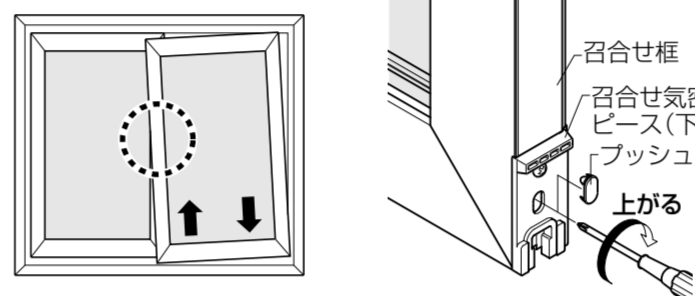
■建付け調整

※建付け調整を行わないと性能を損なうおそれがあります。

【戸車調整】

※障子の召合せがくっつきすぎたとき。

- ①プッシュボタンを外します。
- ②プラスドライバーで中の戸車調整ねじを右にまわすと障子が上上がりします。
- ③上下の召合せ気密ピースを調整して枠のすき間をなくします。(「**3** 外れ止めの調整」を参照)

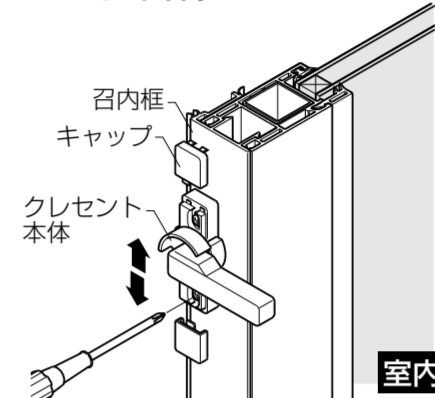


【クレセント・クレセント受け調整】

※クレセントがうまくかからない。閉めるときに障子のがたつきを感じる。

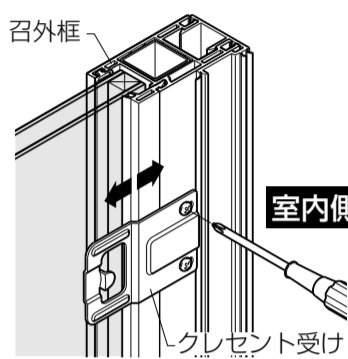
●上下方向の調整(クレセント本体)

- ①マイナスドライバーでキャップを外します。
- ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ③ねじを締めてキャップをします。



●左右方向の調整(クレセント受け)

- ①プラスドライバーでねじをゆるめて、クレセント受けを左右に動かします。
- ②ねじを締め付けます。

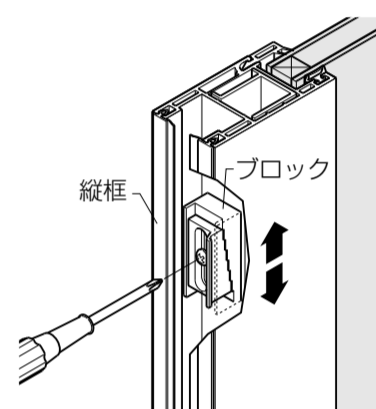
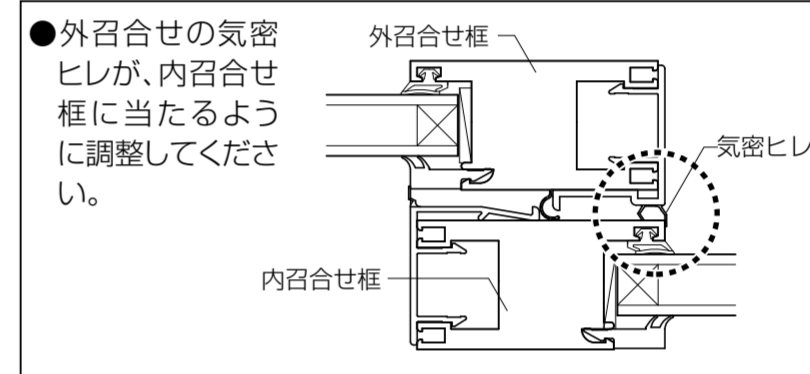
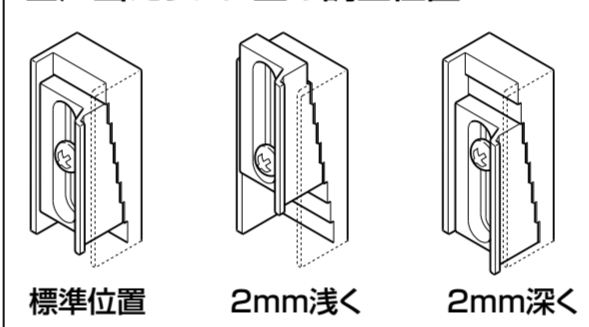


【戸当たりフレ止めの調整】

※外召合せ枠の気密ヒレが内召合せ枠側に当たらないとき。

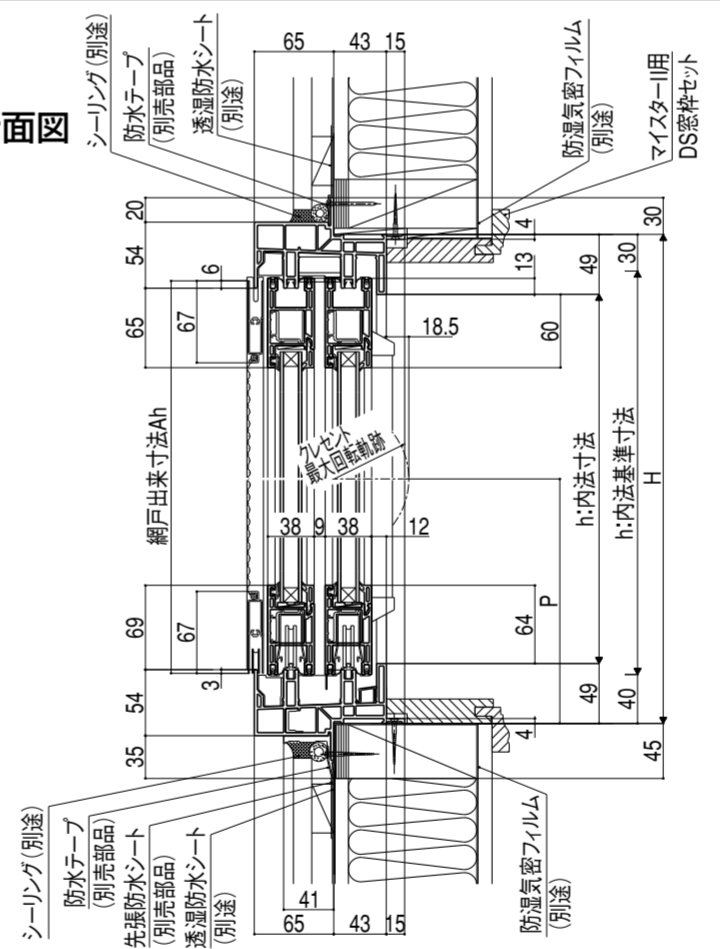
- ①プラスドライバーでねじをゆるめて、ブロックを上下に動かします。
- ②ねじを締め付けます。

■戸当たりフレ止め調整位置

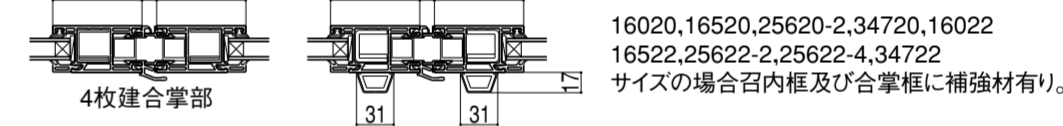


■参考納まり図

●半外付断面図

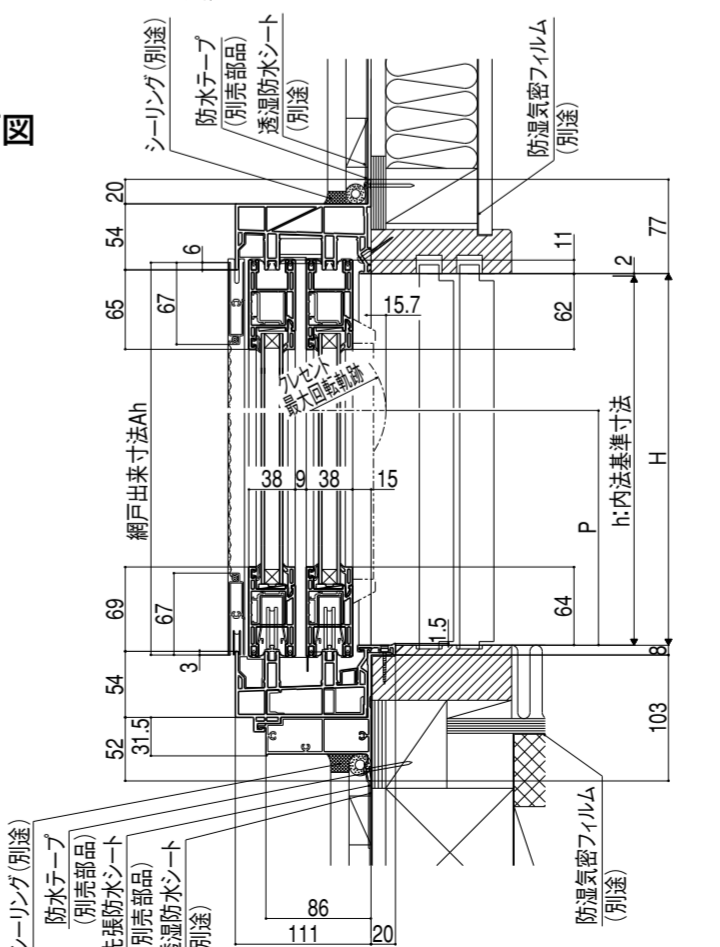


●半外付横断面図

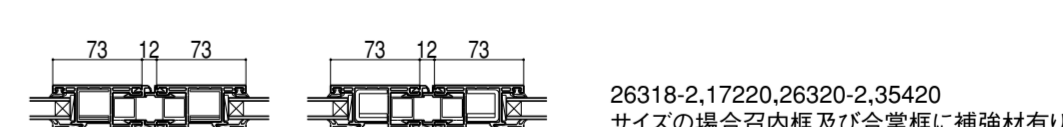


16020,16520,25620-2,34720,16022,16522,25622-2,25622-4,34722
サイズの場合召合内框及び合掌框に補強材有り。

●外付断面図



●外付横断面図



26318-2,17220,26320-2,35420
サイズの場合召合内框及び合掌框に補強材有り